

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年8月13日 (2009.8.13)

【公表番号】特表2009-503560(P2009-503560A)
 【公表日】平成21年1月29日 (2009.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報2009-004
 【出願番号】特願2008-522799(P2008-522799)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 21/02 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 1 0 L 21/02 3 0 1 A

G 1 0 L 21/02 3 0 2 Z

G 1 0 L 13/00 1 0 0 R

G 1 0 L 13/00 1 0 0 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月23日 (2009.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 文書の領域が、口頭の音声ストリームの対応する領域での内容を正確に表す可能性の推定を特定するステップと、

(B) 前記特定された可能性に基づき、再生されたとき、前記口頭の音声ストリームの前記領域に対する強調を変更するための強調係数を特定するステップと、を含む方法。

【請求項 2】

前記ステップ (B) は、再生されたとき、前記口頭の音声ストリームの前記領域に対する前記強調を増加させるための強調係数を特定するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

(C) 強調が調整される音声ストリームを生成するために前記強調係数に従って、前記口頭の音声ストリームの前記領域での強調を変更するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ステップ (A) は、(A) (1) 前記文書の前記領域が、前記口頭の音声ストリームの前記対応する領域での前記内容を正確に表す信頼度を表す信頼値に基づく前記可能性の前記推定を特定するステップであって、

前記信頼値は、前記口頭の音声ストリームの前記領域に基づき、前記文書の前記領域を生成した自動転写システムによって提供されるステップを含む、請求項 1 に記載の方法

【請求項 5】

(C) 前記ステップ (B) の前に、前記口頭の音声ストリームの前記領域での関連性の値を特定するステップであって、

前記ステップ (B) は、前記特定された可能性及び関連性の前記特定された値に基づき、前記強調係数を特定するためのステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

文書の領域は、口頭の音声ストリームの対応する領域での内容を正確に表す可能性の推定を特定するための第 1 の特定手段と、

前記特定された可能性に基づき、再生されたとき、前記口頭の音声ストリームの前記領域に置かれる強調を変更するために強調係数を特定するための第 2 の特定手段と、
を含む器具。

【請求項 7】

(A) 文書の領域が特定の内容を正確に表す可能性の推定を特定するステップと、
(B) 前記特定された可能性に基づき、強調係数を特定するステップと、
(C) 前記強調係数によって特定された強調を有する前記文書の前記領域を表す音声ストリームを再生するためのテキスト発話エンジンを使用するステップと、
を含む、方法。

【請求項 8】

(D) 前記音声ストリームに基づき、前記文書のエラーを修正するステップ、
をさらに含む、請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

文書の領域が、特定の内容を正確に表す可能性の推定を特定するための第 1 の特定手段と、

前記特定された可能性に基づき、強調係数を特定するための第 2 の特定手段と、
前記強調係数によって特定された強調を有する前記文書の前記領域を表す音声ストリームを再生するためのテキスト発話エンジンと、
含む、器具。

【請求項 10】

前記第 2 の特定手段は、前記特定された可能性に基づき、前記音声ストリームの再生速度を調整するための時間スケール調整係数を特定するための手段を含む、請求項 9 に記載の器具。